

学校だより



駒場

KOMABA

令和 8 年 (2026)

4 月 7 日 発行

目黒区立駒場小学校

校長 秋山 美栄子

<http://www.meguro.ed.jp/mekmabeh/>



令和 8 年度 スタート！

～みんなの力で、みんなの「誇り」である学校づくりを！～

校長 秋山 美栄子

桜の花びらが舞い散る中、新 1 年生 43 名を迎え、13 学級、児童 332 名で、駒場小学校の令和 8 年度がスタートしました。お子さまのご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

今年度も、「みんな(児童・保護者・地域・教職員)の『誇り』である学校」づくりを、皆様と共に進めていきたいと願っています。恵まれた環境である「駒場に学ぶ子」であることへの誇り【駒場 PRIDE】をもち、知・徳・体の 3 つの側面からの資質・能力をバランスよく兼ね備えた人として成長するよう、今年度も上記の学校教育目標を掲げ、特色ある質の高い【駒場 BRAND】の教育に、教職員一同、精一杯取り組んでまいります。よろしくお願いたします。

【学校教育目標】

- すすんで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健やかな子
- こまばのまちとともに—

保護者会でもご説明いたしますが、今年度は、特に、次のことを重点的に実践してまいります。

◇落ち着いた礼儀正しい態度を身に付けさせる

人とよい関係を築くためにも、学力を高めるためにも、その基盤として、心身共に健康で落ち着いた生活を送ることが大切であると考えます。年度当初は各学年・学級で、落ち着いた学習・生活態度の形成に重点的に取り組むため、全校で行う大きな行事は夏休み後に設定するようにいたしました。早寝・早起き・朝ご飯をはじめ、時間やきまりを守ること、あいさつをすること、言葉遣いや話の聞き方に気を付けること、持ち物を管理すること等が、しっかりと習慣付くよう繰り返し指導してまいります。

また、他者からの注意や助言を受け入れる「素直さ」や相手の気持ちを想像する「思いやり」の心についても重視し、これまで以上に子どもたちに声をかけていきたいと思っています。

◇「自己調整力」の育成を図る

VUCAと言われる予測困難な時代を生きていく子どもたちに必要なのは、与えられたことに取り組むことのみならず、自ら課題を設定し、見通しをもって学ぶ方法を考え、実践し、修正を図りながら粘り強く取り組む力や態度(自己調整力)を身に付けていくことです。本校では、「40分授業午前5時間制」で生み出した時間を活用して、自ら課題や方法を選んで教科学習の復習や発展学習に取り組む「マイプラン学習」や、自分の好きなことを追究する「こまば個人研究(こま研)」の時間を設けています。また、プランニングシートを活用して、持ち物の準備をしたり自分の行動を振り返ったり等、生活面での「自己調整力」も育んでまいります。お子様の実態に応じて、プランニングシートにお目通しいただくなど、ご家庭の協力を何卒よろしくお願いたします。

◇体験的な学習や様々な人と関わる活動を充実させる

体験やゲストティーチャーの話を通して感じたことを課題の探究や自らの思考の深まりにつなげ、一人一人が実感の伴った学びをしていくことを目指し、昨年度もその機会をできるだけ創出してきました。今年度も拡充を図ってまいります。キャリア教育(生き方教育)をテーマとする6年生の総合的な学習の時間には小学生向け起業家教育プログラムを導入し、挑戦する姿勢や協力する態度、レジリエンス(精神的回復力)、発想力やプレゼンテーション能力等を高めていきます。また、全学年において、体験や様々な人との関わりを通して、知識の獲得にとどまらず、自分の生活を見つめ直したり考えたことを実行に移したりする児童が増えることを期待しています。

学校教育は、ご家庭や地域の皆様方との連携・協力があってこそ教育効果を高めることができます。今年度も、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いたします。